

V9本体やPLCが手元にないため、動作確認ができずに困ったことはありませんか？
 今回は、V-SFT Ver. 6同梱の以下のデバッグ機能をご紹介します！

- ・エミュレータ
- ・シミュレータ

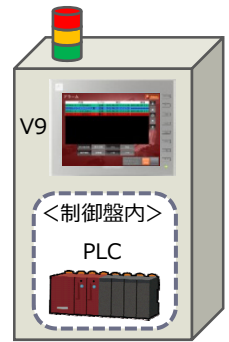
エミュレータ

Before

画面データの一部変更、追加の依頼を受けたが、装置の出荷後でV9本体、PLCとも手元にない… すぐに動作確認ができない。

事務所

工場



修正は完了したが、
機材がないので確認が
できない…
正常に動作するか不安。

動作を
確認するには…

現地に出向いて確認する
必要がある。
時間も手間もかかる。

エミュレータ機能を使用すると…

After

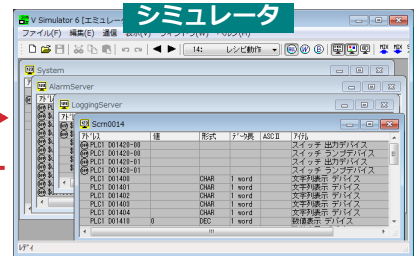
V-SFT Ver. 6のエミュレータ機能を使用すれば、機材がない状態でも
作成したデータの動きをパソコン上で確認できます！

事務所

- 1) [転送] → [エミュレータ] → [起動] でエミュレータを起動



- 2) 「エミュレータ」(V9の代用)、「シミュレータ」(相手機器の代用)が起動



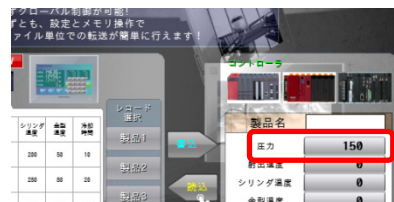
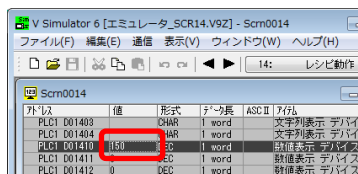
通信

<動作イメージ>

例) D1410 (圧力) の値を0 → 150に変更

シミュレータ上の値をダブルクリックして、
"150"を設定

エミュレータ上の表示が更新



データを修正したら、すぐに
その場で確認できて安心！
しかも作画ソフトだけでOK！



エミュレータ その他活用方法

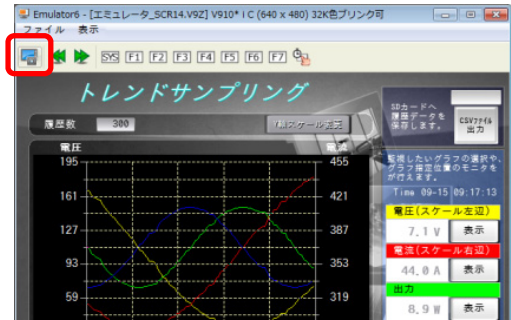
操作マニュアル作成

エミュレータ上で画面のみを簡単にキャプチャできるため、値を表示した状態、ランプを点灯させた状態など、実際の稼働画面をWordやExcelに貼り付けることができます。

- 1) [転送] → [エミュレータ] → [起動] でエミュレータを起動
- 2) [ファイル] → [画面イメージをクリップボードへ]、またはツールバーの [クリップボード] ボタンをクリック

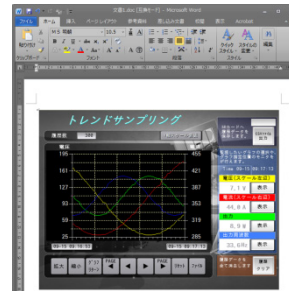
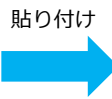
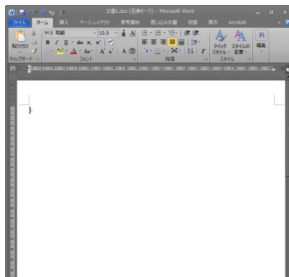


または



- 3) WORD、EXCELなどのアプリケーションを起動し、[貼り付け] 実行

例) WORD

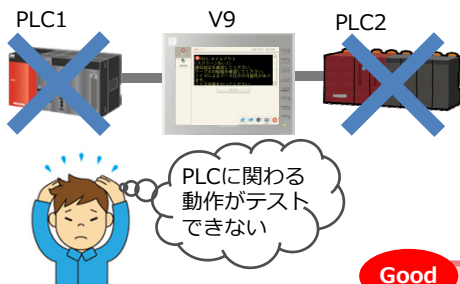


実際の動作イメージを操作マニュアルに反映できるので分かりやすい!

シミュレータ

PLCのプログラムは別の人作成中などでPLCが手元にない状態でも、シミュレータ機能を使用すれば、作成した画面データをV9本体だけで動作確認できます。

<V9本体以外の機器がない>



PLCの代わりに
シミュレータを使用すると...



<V9本体とPCを転送ケーブルで接続>



Good

V-SFT Ver. 6と転送ケーブルがあれば、V9と接続して動作確認可能!

シミュレータの接続方法、操作方法について詳しくは、『V9シリーズオペレーションマニュアル』をご覧ください。

【連絡先】

発紘電機株式会社
モニタタッチコールセンター

TEL : 0120-929-299
※ 携帯電話からは076-274-5130
FAX : 076-274-5208
URL : <http://www.hakko-elec.co.jp>